

楽しい時間を一緒に過ごすことが、
問題を解決させる一番の方法



小沢響子さん(2000年生まれ)
浜松日体高校 出身

出身
大学

聖隷クリストファー大学
社会福祉学部
<https://www.seirei.ac.jp>



企業
情報

メンタルクリニック・ダダ
浜松市浜名区中条 1844
<https://dada.or.jp/clinic/dada/>

——学生時代

「幼いころから、障がいを抱えた友人が身近にいたこともあり、将来は困っている人の役に立てる仕事に就きたいと思っていました。高校卒業後は、福祉を幅広く学ぶために聖隷クリストファー大学社会福祉学部に進学しました」

大学時代のことを教えてください。

「多くの実習を経験したことが印象に残っています。1年次は重度の身体障がい者施設、2、3年次は児童発達支援センターや児童養護施設などへ実習に行きました。4年次になると精神面の領域について学ぶ機会が増え、病院の精神科や市役所の障がい福祉課などの現場実習を経験することができました。福祉の仕事は患者さんの心に寄り添うことが大切です。現場でしか学べないことも多く、学生時代に多くの実習を経験できたことは、今でも自分の力になっていると思います」

——仕事について

「精神保健福祉士の仕事は、精神的な障がいを抱えた患者さんに対し、日常生活を送ることや社会参加ができるように支える仕事です。本人や家族に対する相談援助や、生活しやすい環境づくりをおこないます。大学卒業後、私はメンタルクリニック・ダダに就職しました。デイケア業務、外来対応、精神障がい者宅への訪問が主な仕事になります。デイケアでは曜日ごとにプログラ



ムがあり、スポーツをしたり、料理作りなどさまざまな活動を通して患者さんが社会復帰できるようサポートしていきます。抱えている問題は一人ひとり違うため、患者さんに合わせてコミュニケーションをとることが大切です」

心がけていることは？

「患者さんに友達のような感覚で寄り添い一緒に楽しく過ごすことを心がけています。訪問の際は、患者さんの生活状況を把握し、必要な支援を行うことはもちろん、出かけたリゲームをしたりと、楽しい時間を一緒に過ごすことで、患者さんの心が晴れていくのを実感しています」

——やりがい

「患者さんの身近な存在になり、信頼関係を築くことがやりがいです。私が担当した患者さんに、高校中退後に家に引きこもり、家族にも悩みを相談できない方がいました。少しずつ話を聞くことで悩みを打ち明けてくれるようになり、今は就労に向けて取り組んでいます。そんな姿を見ると、この仕事をしていて本当によかったと感じます」

——メッセージ

「聖隷クリストファー大学は教員と学生の距離が近く、どんなことでも親身に相談に乗ってくれます。またゲストスピーカーとして卒業生が講義をしてくれることも多く、将来のビジョンをイメージしやすい環境があります。おかげで私は、精神保健福祉士になるという目標に向かうことができました。高校時代、少しでも興味のあることが見つかったときは、オープンキャンパスに参加するなど何か行動を起こしてみてください！」

ありがとうございました。



自分
年代

18歳



22歳



現在

幼いころの夢を叶えるため、幅広く福祉分野を学ぶことのできる聖隷クリストファー大学に進学。

充実した実習を通して、福祉現場に必要な知識や経験を身につける。

自身も一緒に楽しむことを心がけ、患者さんの未来を支える。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



人の命を救うために、
常に学び続ける姿勢を忘れない



牧沢祥一さん(1999年生まれ)
浜松湖北高校 出身

企業
情報

浜松市消防局

浜松市中央区下池川町 19-1
<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/bosai/shobo/index.html>

出身
大学

中部大学

生命健康科学部スポーツ保健医療学科
<https://www.chubu.ac.jp>



——学生時代

「救急救命士をめざしたのは、高校生のときに脳震とうで救急搬送されたことがきっかけです。体の状態を確認しながら迅速に判断をしていく救急救命士の姿がとてもカッコよく、憧れを抱いたことを覚えています。救急救命士について学べる大学を調べ、中部大学生命健康科学部に進学しました」

大学時代のことを教えてください。

「まず、体の構造や解剖学、筋肉の仕組み、栄養など、体の基礎を座学で学びました。それに加え、実際に体を動かしながら運動に適した指導方法も学びました。実技の授業では、人形を使った心肺蘇生法や交通事故時の対応、実習では点滴の補助をするなど、現場を想定した学びが多かったです。元救急救命士の教授から実際の現場の話や聞くことで、学びがより深まりました。国家試験に向けて過去問を繰り返し解き、試験前は、大学で集中的に傾向に合わせた対策授業がおこなわれたので心強かったです」

——仕事について

「将来は地元で働きたいと思っていたので、浜松市消防局に入庁しました。最初は、消火に関する知識や技術を学び、暑さに慣れるために防火服を着ての訓練、体づくりなどが中心でした。消防の仕事には、立入検査や訓練指導など火事を未然に防ぐ予防業務、火災現場に駆けつけお



こなう消火活動、火災や事故などで閉じ込められた人を救出する救助活動などがあります。1年目は消火活動を担当し、2年目からは救急救命士として活動しています」

現在の仕事内容を教えてください。

「人の命を救う仕事です。救急車に乗って出動し、苦しんでいる傷病者をいかに早く、安全に適切な病院へ搬送するかが重要です。搬送中は、常に容態の変化に注意しながら、主訴や疑われる病気を正確に病院へ伝えます。一般の救急隊員と違い、救急救命士は医師の指示のもとで、薬剤投与、点滴、器具を使用した気道確保などの特定行為をおこなうことができます。どんなに軽傷な傷病者でも、119番通報された方は『死ぬかもしれない』と思って通報していることを忘れず、安心してもらえるようにていねいな対応を心がけています」

——やりがい

「状態がわからず不安定になっている傷病者が多いですが、冷静に状況を確認して適切な情報を伝え、病院に到着して無事に引き継げたとき

にやりがいを感じます。そして、ご本人やご家族からの『ありがとう』という言葉が何よりうれしいです」

——メッセージ

「休日も研修に参加するなど、学ばず意欲の高い先輩がまわりに多く、1年目はとても刺激を受けました。医療は常に進化しているので、現場に出てからも学び続ける姿勢が大切です。学生時代は、勉強と同じくらい友人関係も大切にしてください。社会に出て悩んだときや息抜きが必要ときに支えてくれるのは、友人の存在だと感じています」
ありがとう、ございました。



17歳



22歳



現在

脳震とうで搬送されたことがきっかけで、救急救命士に憧れを抱く。

中部大学に進学し、救急救命士の知識と技術を学ぶ。

「ありがとう」という言葉をモチベーションに変え、日々の仕事に取り組む。



先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>

音楽は、元氣や癒しをもらえる
みなさんの生活に欠かせないもの。
楽器製造を通して夢や希望を届ける



北川慈瑛さん(1999年生まれ)
浜松商業高校 出身

企業
情報

ヤマハ株式会社 豊岡工場
磐田市松之木島203
<https://www.yamaha.com>

——学生時代

「学生時代の思い出のほとんどは部活です。吹奏楽部でトランペットを担当していました。小学校4年のころから金管バンドに所属していて、父が吹奏楽やバンドをやっていた影響で自然と音楽に興味をもつようになりました。今でもヤマハ吹奏楽団に所属して演奏を続けています。音楽を通じて感性が磨かれたと感じますし、上下関係の大切さから礼儀を学びました」

就職先を選んだ決め手は？

「進路は、音楽大学に進学するか就職するかで悩みました。講師の先生から、『就職しても演奏活動の場はあるよ』と助言をもらったことが就職を選んだきっかけです。最終的には、ヤマハ吹奏楽団の採用枠として就職をしました」

——仕事について

「ヤマハ豊岡工場でトロンボーン製造をしています。先輩方の教え通りにいかない作業が多く、最初は先輩の技術を見て盗み感じでした。私の部署は、機械を動かすのではなくほとんどが手作業。微妙な違いで仕上がりが変わるので、人間のコツも大切になってきます。入社当初に教わったのは、仕事を楽しめるように考えること。仕事は人生の大部分を占めるものだからこそ、この意識は今でも自分の軸になっています」

現在の仕事内容を教えてください。
「音楽は、元氣や癒しをもらえるみ



皆さんの生活に欠かせないもの。楽器製造を通して、楽器を購入していただいた人に夢や希望を届けることが私の仕事です。現在は、トロンボーンのスライド部分のはんだ付けを担当し、工程リーダーを務めています。同じ作業でも部品の個性によって、施し方が変わるため、単調な作業にならず、自分次第で速さや美しさを向上していけるところがこの仕事の魅力です」

ヤマハ吹奏楽団の活動についても教えてください。
「週2回程度、就業後に本社で楽団の練習をおこない、夏と冬に演奏会を開催しています。ヤマハ野球部の応援や地元浜松のお祭りのパレードにも参加するなど、様々な舞台で演奏をしています」

——やりがい

「ヤマハという、音楽に携わる方なら誰しも知っている企業で働けていることに誇りを感じています。また、速さや仕上りの美しさ、正確性が高まっていくと自身の成長を実感できてやりがいを感じます」

——メッセージ

「楽器経験者や音楽が好きな人は、特に楽しく働ける場所だと思っています。楽器の構造や音色を知っていると、完成形をイメージしながら作業ができますからね。もちろん楽器未経験の人にもたくさんいるので、やる気さえあれば誰でも楽しく働けますよ。8年間働いてきて感じるのは『謙虚さ』が一番大事ということ。仕事に慣れてきたときこそ、初心を忘れずに、先輩後輩との関係や一つひとつの作業を大切にしよう意識しています」

ありがとうございました。



自分
の
年
齢

18歳

↓

19歳

↓

26歳

吹奏楽部に所属し、部活に明け暮れた高校時代。卒業後、ヤマハに就職。

仕事を楽しむことの大切さ、先輩の思考を考へて仕事を先回りすることの大切さを学ぶ。

初心を忘れずにモノづくりと向き合い、日々、自身を成長させる。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



誰でも気軽に

グッドなタイミングで行けるお店に



和田健さん(1991年生まれ)
静岡城北高校 出身

企業
情報

GOOD TIMING TEA

@goodtimingtea_shizuoka
https://goodtimingtea.jp

——学生時代

「高校時代、将来のビジョンは特になく、ただ目の前のことをひたすら楽しんでいました。実家が、だるまや和田清商店という製茶問屋だったので、お茶屋に入ればいいか、くらの舐めた考えの高校生でした」

今の仕事を始めるきっかけは？

「アルバイト、実家の仕事と会社員を経て、客として通っていたハグコーヒーで働きはじめたことがきっかけです。製茶問屋がクローズドな感じがしていたので、いろんな人との出会いがあるオープンなハグコーヒーの雰囲気は刺激的でした。抽出から、産地・品種まで、1からおいしくコーヒーを淹れる技術と知識を学びました。会社員時代と比べて、年間休日も給与も少なかつたんですが、初めて長く働き続けられたんです。何でも挑戦させてくれましたし、のめり込むとこれだけ仕事って楽しいんだと、新しい自分の発見にもなりました」

——仕事について

「2016年に『GOOD TIMING TEA』をオープンしました。敷居を低くして、誰でも気軽にグッドなタイミングで行けるお店をコンセプトにしています。商品は、実家で火入れ・ブレンドしたお茶を中心に、コーヒーなどの注文しやすいシンプルなものに構成しています。静岡産のものを多く使い、自分と立ち上げメンバーでメニューは考えました」

心がけていることは？

「お店に来る前より、帰りのほうがちょっと元気になる、気持ちが出る。そんな空間提供を意識しています。おいしい商品を提供すること、もちろん、居心地のいい空間を作ることが大切。そのために、お客さんが話したい声量で話せるような空間設計にしています。あと一番大事なのは、掃除と挨拶。小学校で教わるようなことです(笑)」

——やりがい

「やりがいを感じるのは、『こんなにいいお茶があるんだ』『こんなに素敵なお店があるんだ』って言うてもらえたときです。お客さんがお店に足を運んでくれて、最後に『ありがとう』『うちそうさま』と言って帰っていく。それが飲食業ならではの魅力だと思います。あとは、一緒に働くスタッフの成長を感じたときもうれしいです。お店を、スタッフ一人ひとりが自分らしく働いて輝ける場所にしたと思うています。結果的にそれがお店の雰囲気に反映されますからね」



——メッセージ

「いろいろな経験を経てカフェ業界で働きはじめましたが、年間休日や給与などの数字だけでは測れない楽しさがそこにはたくさんありました。振り返ると、失敗を恐れずにいろいろなことに挑戦できたことが今につながっていると思います。それまで痛い目も見ました。でも、そこから学べたことも多かったです。みなさんも求人情報の数字だけではなく、自分が挑戦したい何かが見つかるように、いろんなことに挑戦してください！」

ありがとう、ございました。



18歳

↓

31歳

↓

33歳

自分
の
年
代

将来のビジョンはなく、目の前のことをひたすら楽しんだ高校生活。

ハグコーヒーに7年間勤めたのち、独立。GOOD TIMING TEAをオープン。

お客さんの声、スタッフがいきいきと働く姿がやりがいに。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



一緒に成長する

地域全体を元気にして

地域の課題を解決し、



藤原元輝さん (2001年生まれ)
清水桜が丘高校 出身

企業
情報

株式会社静岡銀行

静岡市葵区呉服町1丁目10番地
<https://www.shizuokabank.co.jp>

出身
大学

常葉大学

社会環境学部
<https://www.tokoha-u.ac.jp>



——学生時代

「高校時代は、サッカー部に所属し、全国大会をめざして日々練習に励んでいました。100人を超える部員がいるなかで、ゴールキーパーとしてレギュラーを勝ち取り、全国大会に出場できたことは大きな思い出です。部活と勉強を両立しながら、何事にも常に全力で取り組んだ高校生活でした」

大学時代のことを教えてください。

「地域やまちづくり、環境、防災などに関心があり、高校卒業後は常葉大学社会環境学部に進学しました。研究のテーマにしたのは、高齢化による静岡市の空き家問題です。現在の業務でも、空き家を売りたいくても売れないお客様の相談を受けることがあるので、大学で得た優遇制度などの知識がいかされる場面もあります。地域の課題を見つけて解決策を導き出すという姿勢は、仕事でも役立っています」

——仕事について

「就職活動で静岡銀行に出会い、第一印象で『カッコいい!』と感じたことが志望のきっかけです。柔軟な働き方や服装、新しいことにチャレンジする風土に惹かれました。昔から『地域をよりよくしたい』という思いをもっていたことも、静岡銀行に就職した理由のひとつです」

現在の仕事内容を教えてください。

「地域の課題を解決し、地域全体を元気にして一緒に成長していくこ

——やりがい

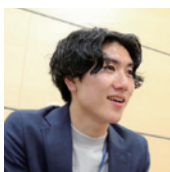
「もともと単純作業の繰り返しですが苦手だったこともあり、可能性が自分次第で無限に広がる現在の仕事にやりがいを感じています。知識と経験をいかして1から100まで自分で考え提案し、結果としてお客様によるこんでもらえたときは本当にうれしいです。法人営業では企業への融資、個人のお客様には住宅ローンや自動車ローンなど生活に寄り添った提案を通して、地域社会を支えられることにやりがいを感じます」



——メッセージ

「働いていて、当行は常に新しい挑戦を大切にしている企業だと感じています。大切なのは、自分で考えて行動し、挑戦を続ける姿勢。そのふたつを両輪にして未来に進むことを意識しています。学生のみならず、その意識を大切にしている人なことに挑戦してほしいです。現在は、営業として地域の企業やお客様のために日々の仕事に取り組んでいます。将来的には本部で経営戦略に携わったり、地方創生に関わる企画にも挑戦してみたいです!」

ありがとうございました。



18歳

↓

22歳

↓

現在

サッカー部に所属し、部活に熱中した高校時代。全国大会に出場する。

常葉大学に進学し、環境や防災について学ぶ。卒業後、静岡銀行登呂支店に入行。

時代に合わせたサービスを提案し、地域社会を支える。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



自分の言動に責任をもち、
県民の安心安全な生活を守る



近藤陽介 さん (1991年生まれ)
榛原高校 出身

出身
大学

名城大学

人間学部
<https://www.meijo-u.ac.jp>



企業
情報

愛知県警察本部

名古屋市中区三の丸2丁目1-1
<https://www.pref.aichi.jp/police/>

——学生時代

「高校時代は野球部に所属し、部活動に打ち込む日々を過ごしました。仲間とともに目標に向かって努力するなかで、チームワークや助け合いの大切さを学びました。警察の仕事も、同僚との連携や協力が不可欠なので、部活で培った協調性は今でも役立っています。高校卒業後、名城大学人間学部に進学しました」

大学時代のことを教えてください。

「人間心理やコミュニケーションを中心に、人間学を多角的に学びました。ゼミでは国際コミュニケーションを専門に学び、国ごとの文化や価値観の違いについて理解を深めることができました。現在の仕事では、様々な国籍や背景をもつ方と接する場面が多いので、大学の学びが現場でいかされていると感じています。将来について本格的に考えるようになり、『人の役に立ちたい』という思いが強く、警察官をめざすように。大学の公務員試験対策講座にも参加し、目標に向かって準備を進めていきました」

——仕事について

「警察学校での半年間は、法律の知識や体力づくり、逮捕術などを学び、警察官としての自覚と責任を身につける時間でした。印象に残っているのは、ヘルメットや盾を装備し、声を出しながら隊列を乱さずに走る警備実施訓練。仲間と助け合いながら乗り越えた経験



が、警察官としての基盤になっていると感じます。これまでに交番、留置管理、交通事故捜査などの勤務を経験しました」

現在の仕事内容を教えてください。

「県民の安心安全な生活を守ることが私たち警察官の仕事です。現在配属されている特別警戒隊では、風水害や地震などの大規模災害現場に駆けつけ、避難誘導や救助活動にあたります。医師ではないからこそ、命をつなぐ初動対応が重要で、自衛隊や救急隊など他機関と連携して活動します。普段は警察署の地域課に所属し、犯罪予防や警ら活動を行っています」

——やりがい

「この仕事は、事件や事故が起きないことが一番です。それでも交通事故現場などでは、悲しみに暮れる方々と向き合う場面もたくさんあります…。対応後に『ありがとう』と感謝の言葉をかけられたとき、ほんの少しでも安心した表情を見せてもらった瞬間に、この仕事ならではのやりがいを感じます」

——メッセージ

「警察官をめざしている方は、警察署に気軽に相談に来てください。みなさんが想像している以上にオープンな場所ですよ。この仕事は、自分を律することができる人に向いていると思います。学生時代は何事も後悔のないようにやり切ることが大切です。勉強でも部活でもいいので、ひとつのことに熱中した経験は、必ず将来に生きてきます。挫折しても構いません。悔しい思いや努力してきた経験が、自分の力になりますよ！」

ありがとうございました。



18歳

↓

22歳

↓

現在

野球部に所属し、チームワークや協調性を養う。

名城大学に進学し、国際コミュニケーションを学ぶ。

特別警戒隊に配属。地震・台風・水害などの自然災害現場に駆けつけ、避難誘導や救助活動をおこなう。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



導き出せるように寄りそう。

学生が自分にとっての正解を



石井杏奈さん(2000年生まれ)
三島北高校 出身

企業
情報

鈴木商事株式会社

静岡市葵区栄町1-3 鈴木静岡ビル8階
<https://www.suzuyushoji.co.jp>

出身
大学

静岡県立大学

経営情報学部
<https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp>



—学生時代

「軽音楽同好会に所属し、コピーバンドを結成してベースを担当していました。学祭などで演奏したことが思い出に残っています。将来のことはまったく考えておらず、漠然とカッコいい仕事に就きたいと思っている程度。大学でやりたいことを見つければと、静岡県立大学経営情報学部に進学しました」

大学時代のことを教えてください。

「経営・総合政策・データサイエンス・観光マネジメントの4つの柱があり、マーケティングや地方創生プログラムなど幅広い分野を学びました。ゼミで専攻したのは、経営についてです。企業の人事や労務が専門のゼミで、私はインターンシップに参加している学生と参加していない学生の就職後の満足度の違いについて研究しました」

—仕事について

「大学の講義に来ていた鈴木商事の方の話を聞いて興味をもちました。内定をいただいてからも、個別面談の機会や不安を払拭する場をたくさん設けてくれたことが就職先を選んだ決め手です」

商社の仕事を教えてください。

「お客様にとって最適な商品・サービスを、メーカーから仕入れてお届けする仕事です。当社では、電気やガスなどの『エネルギー』、建設資材や合成樹脂などの『マテリアル』、オフィス製品や業務のデジタル化を

—メッセージ

「総合商社という名前のとおり、取り扱う商品は無限大です。その分、インプットしないといけない情報も多いです。お客様のために勉強を頑張れる人、いろんな分野にアンテナを立てられる人に向いている業界だと思っています。私は大学時代、任されたことはとりあえず取り組むようにしていました。その経験が、意外な場面でいかされていることもあります。みなさんも、『どうせやるなら楽しむ』という精神で、何事にも挑戦してみてください！」

ありがとうございます。



現在の仕事内容を教えてください。

「合同説明会や学内セミナーに参加し、鈴木商事の魅力を学生に伝えることが私の仕事です。インターンシップの設計や運営も担当しています。選考を進めるなかで、学生が希望する働き方や事業などをしっかりと聞き、一人ひとりが自分にとっての正解を導き出せるように寄りそうことを意識しています」

—やりがい

「人事の仕事は、毎日のようにやりがいを感じられます。なかには、『石井さんがいるから鈴木商事を受けてみようと思いました』と言ってくれる学生もいます。そういう声が、『鈴木商事の魅力だけでなく、私自身の魅力も学生に伝わったんだ』とやりがいにつながっています」



自分
年代

18歳

↓

22歳

↓

24歳

友達とバンドを結成し、学祭などで演奏したことが思い出に。

ゼミでは、経営、人事、労務などを学ぶ。卒業後、鈴木商事に就職。

人事部に配属され、新卒採用を担当。相手に寄りそうことを大切にし、鈴木商事の魅力を学生に発信する。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



頭の中で考えるだけでなく、
行動に移せるかどうかが大切



池田翔悟さん (2000年生まれ)
科学技術高校 出身

出身
大学

中京大学

工学部機械システム工学科
<https://www.chukyo-u.ac.jp>



企業
情報

株式会社サンスタッフ
豊田自動織機エンジニアリング
<https://www.sunstaff.co.jp>

——学生時代

「電気工学、ロボット工学、情報システムなどの基礎を学び、2年からはロボット工学を専門的に学びました。学んだのは、図面制作、PAC（プロキシ自動設定）制御についてなど。基板上に抵抗器やコンデンサなどをはんだ付けして、マイコンカー（マイクロコントローラを搭載した模型自動車）を1から製作したことが印象に残っています。高校卒業後は中京大学に進学しました」
大学時代のことを教えてください。

「システム、C言語やPythonなどのプログラミング言語、機械力学などを学びました。1年次は座学が中心でしたが、2年からは実習もありました。仮定の部屋を設定し、ロボット掃除機でどのくらいキレイにできるかを実験しました。図書館で文献を読んで調べたり、レポート作成や人前でプレゼンをしたりする機会が多かったのですが、その経験が社会に出てからも役立っています」

——仕事について

「自動車だけでなく、フォークリフトやカーエアコン用コンプレッサなど様々な分野の事業を展開しているところに惹かれ、豊田自動織機グループの人材サービスと開発・設計請負を展開するサンスタッフに就職しました。現在は、豊田自動織機エンジニアリングでエンジニアとして働いています」

現在の仕事内容を教えてください。

「CATIAという3D CADソフトを使って、お客様の要望に沿ったフォークリフトを設計しています。現在は、港灣用の大型フォークリフトの設計が多いです。お客様と販売店から届いた仕様をもとに、フォークバーの幅や長さ、形状、動いた際にはかの部品と干渉がないかを確認しながら図面を作成していきます。毎回がオーダーメイドの依頼で初めて聞く仕様のものもたくさんあるので、わからないところは上司に相談しながら進めています」

——やりがい

「普段はCATIAの画面上で3Dのフォークリフトを見ているので、実際に完成したフォークリフトを工場内で見たときはうれしかったですね。『自分はこのくらいに大きなものを設計したんだ！』という達成感を味わうことができました。今後は、過去の仕様を参考にできるものだけでなく、新たに1から自分で考えて設計するフォークリフトにも挑戦してみたいです」



——メッセージ

「学生時代に大切なことは、何事にも興味をもつことです。知らないことや新しいことを知ることは、すごく楽しいことです。どんな分野でもいいのでアンテナを張ってください。あとは、積極的に行動すること。みなさん、考えることはたくさんしていると思いますが、それを行動に移すかどうかで今後の人生が大きく変わってきます。失敗しても最初は許されるので、どんどん行動して経験を積んでください。それが自身の財産になりますよ」
ありがとうございました。



自分
の
年
表

18歳

ロボット工学について学ぶ。高校卒業後、中京大学に進学。

22歳

プログラミング言語、システム構築について学ぶ。

24歳

お客様の要望に沿った、オーダーメイドの大型フォークリフトの設計をおこなう。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



気軽に聞ける街の専門家

健康や薬、病気について



原田和真さん(2000年生まれ)
浜松西高校 出身

企業
情報

株式会社杏林堂薬局

浜松市中央区板屋町111-2 浜松アクトタワー 13階
<https://www.kyorindo.co.jp>

出身
大学

愛知学院大学

薬学部医療薬学科
<https://www.agu.ac.jp>



—学生時代

「薬剤師の仕事に興味をもったのは中学の授業で職業について調べたときです。専門性を発揮し、それを評価される仕事に魅力を感じたのがきっかけでした。高校卒業後、愛知学院大学薬学部に進学しました。」
大学時代について教えてください。

「最初の2年間で有機化学や生物学などの基礎を固め、3年次以降は、薬がどのように身体に作用して効果や副作用をもたらすのかなど、より専門的な学びを深めました。5年次には薬局や病院へ実習に行き、調剤やピッキング、患者さんの対応などを経験しました。不安もありましたが、患者さんとのコミュニケーションが意外に楽しかったことが印象的でした。6年次は、卒業研究と国家試験対策に集中。大学に外部講師の方が来てくれて対策をおこなう体制もあり、安心して国家試験に臨むことができました。同じ夢をめざす仲間がまわりにいたことも心強かったです」

—仕事について
「薬剤師の活躍の場は、ドラッグストアや病院、製薬会社、行政など幅広くあります。私は実習を通して患者さんと話す楽しさを知り、病気になる前の予防段階から関われることに魅力を感じてドラッグストアに就職しました。薬剤師は「健康や薬、病気について気軽に聞ける街の専門家」だと思います。薬の調剤や



飲み方の説明、処方箋にミスがないか副作用や飲み合わせの確認をすることが主な薬剤師の仕事です。薬を正しく安全に使うってもらうためのサポートをおこないます」
心がけていることは？

「ただ薬を取り揃えるだけでなく、患者さんとの関わりが重要な仕事です。例えば、血圧の薬を飲んでいる方には、検査値や副作用、飲み合わせなどを確認し、減塩食や普段の運動など生活面へのアドバイスもおこないます。医師だけでなく、看護師やケアマネージャーなど多職種との連携も多く、コミュニケーション力が求められる仕事です」

—やりがい
「継続的に患者さんにアドバイスをおこない、検査値が改善したときはやりがいを感じます。『よくなったよ』『やってみよう』と声をかけてもらえることも多く、地元のみなさんの健康を支えている実感を得られます。病気を未然に防ぐことで地域医療の負担を軽減し、地域への貢献につなげていきたいです」

—メッセージ

「大学の薬学部に入學し6年間の課程を修了し、薬剤師国家試験に合格する必要があります。難しい試験ですが、学ぶ意欲があれば夢は実現できると思います。特に薬剤師は、生涯学び続けなければいけない職業。医療や薬、法律は常に進歩・変化していきますからね。みなさんも学生のうちから、興味のある分野を積極的に学びにいく姿勢を身につけておいてください。その姿勢が、社会に出て働きはじめてからも大いに役立ちます！」
ありがとうございました。



自分
の
安
心

15歳

↓

19歳

↓

24歳

職業を調べる授業で薬剤師の仕事に興味をもつ。

愛知学院大学薬学部に進学。薬理学や病態学などを学ぶ。

杏林堂薬局に就職。患者さんが薬を正しく安全に使うためのサポートをおこなう。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>

